



## 就任のごあいさつ

このたびの選挙により、2期目の市政運営を担わせていただくこととなりました。改めて責任の重さに身の引き締まる思いです。

長かったコロナ禍の生活によりやく光が見えようとしています。新型コロナウイルスはこれまでの市民の暮らしや地域経済、国と地方の関係などに計り知れない影響をもたらしました。この社会の大きな変化をどう乗り越えていくかがアフターコロナの重要課題となっています。また、先日、国立社会保障・人口問題研究所が長期的な日本の人口予測を公表しましたが、少子化等による人口減少と超高齢化が同時進行するなか、これまでのまちづくりの再構築が不可欠となっています。

1期目の4年間では、未来へのまちづくりの種をまき、そして着実にその芽が吹いてきました。デジタル技術の活用により、地域における健康、医療に関する課題の解決に重点的に取り組む国家戦略特区「デジタル田園健康特区」の指定を受け、始動しています。また、これまでの定期路線バスに替わる新しいサービスとして、通勤通学バスの充実、人工知能（AI）によるオンデマンド交通「のらざあ」の本格運行を開始しました。さらに、八ヶ岳西麓地域の環境、農業、観光面での振興策の協議の場として、八ヶ岳西麓地域共生会議を設立しました。これらをはじめとして、将来に向けてまちづくりを進めてきました。

2期目では、第6次総合計画を策定し、その計画のもとこれまで取り組んできた施策を着実に進めるとともに、さまざまな課題を解決に導くため、デジタル技術を活用して市民サービスやまちづくりの仕組みを変革するDXやゼロカーボンに向けた経済社会システム全体を変革するGXに本格的に取り組めます。また、硬直化した財政状況を立て直すため、行財政改革を進めます。そして、これまでコロナ禍で叶わなかった市民の皆さんとの対話の機会を大切に、市民目線で便利で暮らしやすさを実感できるまちの実現に向けて、芽吹いた施策を丁寧に大きく育てていきたいと考えています。

「たくましく やさしい しなやかな 交流拠点CHINO」の実現を目指し、人と人とが交わり、仕事生まれ、この地に住もうという人が増えていく好循環をつくるため、新たな決意と覚悟を持って誠心誠意取り組む所存でございます。

今後とも、市民の皆様の温かいご理解と一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任にあたってのご挨拶といたします。

令和5年4月30日

茅野市長

今井 敦



今井市長初登庁